

令和2年度 第4回吉川区地域協議会次第

日時：令和2年7月25日（土）午前9時00分
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

- ・上越地区における広域最終処分場の整備に向けた新潟県設置検討委員会の協議内容について

4 協議事項

令和2年度地域活動支援事業の追加募集について（プレゼンテーション）

5 総合事務所からの諸連絡について

6 その他

- ・第5回地域協議会の日程調整

7月30日（木）18:30から

吉川コミュニティプラザ

7 閉 会

上越地区における広域最終処分場の整備に向けた新潟県設置の検討委員会の協議内容等について

1 上越地区における広域最終処分場候補地検討委員会の設置と基本方針

① 目的

本県における公共関与による産業廃棄物広域最終処分場の整備候補地の選定に向けた検討を行うため、学識経験者等からなる「上越地区における広域最終処分場候補地検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置する。

② 委員

学識経験者及び関係団体から県が依頼する委員で構成。全 7人 委員名簿は別紙1のとおり

③ 基本方針

令和元年8月1日公表

別紙2のとおり

2 検討委員会の協議経過

① 第1回 令和元年6月12日（水）

- ・委員長 新潟大学工学部教授 山際和明氏を選出
- ・広域最終処分場整備に係る基本方針（案）検討、この結果を受けて県が8/1に公表
- ・検討委員会の進め方を協議 > 先進地の岩手県の事例を参考に検討

② 第2回 令和元年11月19日（火）

- ・候補地の公募実施を決定
期間 令和元年12月2日（月）～令和2年3月31日（火）
周知 広報上越に2回掲載、県と市のホームページ、新聞報道に加え、チラシは市役所・各区総合事務所に配置したほか、全町内会長にも配布
- ・候補地選定の進め方を協議 > 1次～4次のスクリーニングにより段階的に絞り込み、委員会として3～5か所選定
※県が令和2年度中に3か所程度、最終候補地を選定予定

③ 第3回 令和2年3月9日（月）

- ・1次選定 46か所の調査対象地を選定
（調査対象地のある自治体：合併前上越市、浦川原区、大島区、柿崎区、吉川区、頸城区、中郷区、板倉区、名立区）
- ・1次選定項目 <立地回避区域> 国定公園、保安林、地すべり防止区域等の法令等の規制区域等を指定
<抽出条件> 敷地面積(約10ha以上)、地形の状況、道路整備の状況
- ・公募の途中経過報告 1か所の応募あり

④ 第4回 令和2年7月13日（月）

- ・2次選定 1次選定の46か所の内、その条件を満たさない4か所を除外し、この中から20か所を抽出。これに応募地2か所を加え、計22か所の調査対象地を選定
（合併前上越市9、柿崎区9、吉川区2、中郷区2） 別紙3のとおり
- ・2次選定項目 <環境条件> 希少動植物、上越市レッドデータブックの重要な地域、民家等からの距離
<地形・道路等条件> 地形の状況、積雪の状況、運搬効率
<法的規制等の手続> 立地回避区域、農用地区域、その他の規制区域

※各回の選定項目は、1次分は第2回、2次分は第3回、3次分は第4回の検討委員会で議論し、決定しています。4次分は第5回の検討委員会で議論される予定です。

3 令和2年度の今後のスケジュール

- ・10月頃 第5回 検討委員会 調査対象地を5～10か所選定
- ・令和3年1月頃 第6回 〃 候補地を3～5か所に絞り込み、結果を県へ報告
- ・令和2年度中 県が3か所程度、最終候補地を選定予定

※検討委員会の協議内容は、新潟県と上越市のホームページからご覧いただけます。

・新潟県ホームページ <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/haikibutsu/koukyou1.html>

・上越市ホームページ <https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/seikatsu/sanpaisyobunnjyou.html>

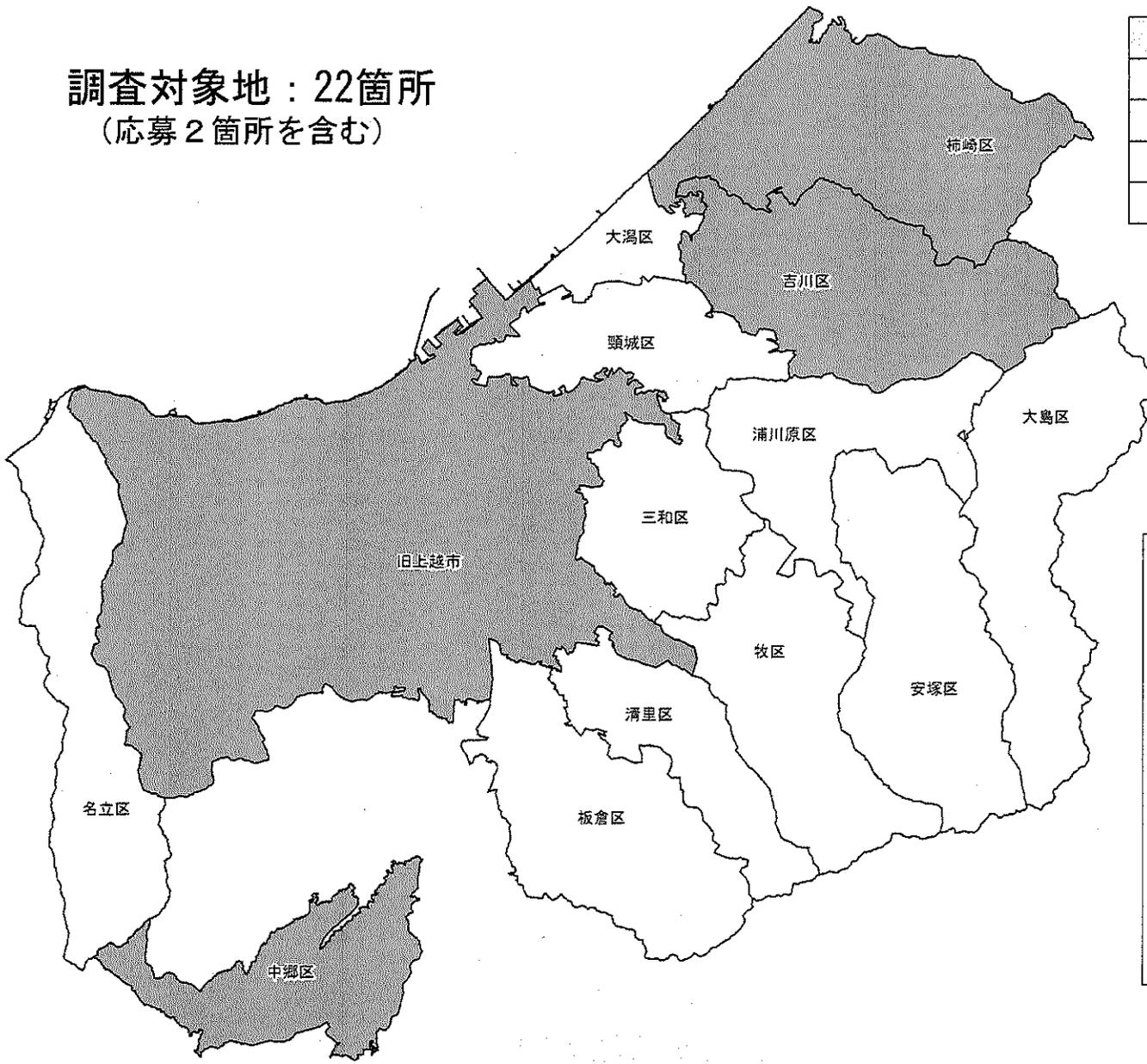
上越地区における広域最終処分場候補地検討委員会
委員名簿

(五十音順)

氏名	所属	役職名	専門分野
あおき としかず 青木 俊和	一般社団法人 新潟県産業資源循環協会	会長	関係団体
いおかわ ゆう 五百川 裕	上越教育大学大学院 学校教育研究科	教授	自然環境
おおいし やすお 大石 保男	一般社団法人 新潟県建設業協会	副会長	関係団体
くぼた よしひろ 久保田 喜裕	新潟大学理学部	准教授	地質
ばば たけし 馬場 健	新潟大学法学部	教授	行政学
まつおか しろう 松岡 史郎	新潟大学理学部	教授	水質、地下水
やまぎわ かずあき 山際 和明	新潟大学工学部	教授	廃棄物

二次選定結果

調査対象地：22箇所
(応募2箇所を含む)



自治区名	調査対象地の数
旧上越市	9
柿崎区	9
中郷区	2
吉川区	2

※ 合併前の上越市を、「旧上越市」と表記。

- < 2次選定項目 >
- ・環境条件
 - 希少動植物
 - 上越市レッドデータブックの重要な地域
 - 民家等からの距離
 - ・地形・道路等条件
 - 地形の状況
 - 積雪の状況
 - 運搬効率
 - ・法的規制等の手続
 - 立地回避区域
 - 農用地区域
 - その他の規制区域

令和2年度 地域活動支援事業提案書受付一覧（追加募集）

区名	受付日	No.	事業の名称	団体等の名称	新規提案団体	複数の区に提案している場合、他の区名を記入	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	事業の実施(着手)時期 ※事業を実施する月(日)だけでなく、事前準備等を含めた、事業の着手を予定している月(日)を記入してください。	備考	区分	1 健康・福祉の向上 2 文化・スポーツの振興 3 まちづくりの推進 4 環境保全・景観形成 5 地域の安全・安心 6 子どもの健全育成 7 観光振興 8 地域活動拠点の整備 9 その他(区分名)
							事業費	補助希望額					
吉川区	7月6日	1	児童と地域との交流活動促進事業	吉川小学校後援会			523	522	吉川小学校運動会において、吉川小学校児童と地域住民との交流を促し、地域の活性化を図る。 地震に対応した避難訓練及び防災用品の展示会を開催し、児童や地域住民の防災意識を高め、安心安全な地域づくりにつなげる。	7月:運動会、防災用品展示会への地域住民参加方法について検討(学校、後援会) 9月9日:避難訓練及び防災用品展示会の実施 9月19:吉川小学校運動会実施。		6	子どもの健全育成
	7月14日	2	子供たちの健全育成を通し地域活性化を図る事業	夢をかなえる会			192	131	映画「夢は牛のお医者さん」を上映することにより、子供たちに夢を持つことの大切さ、実現のための努力の大切さを理解してもらい、上映のための活動を通して地域の連携、活性化を図る。	9月:上映実施に向けた詳細内容の決定 11月:チラシ、ポスターの作成 1月:チケットの販売開始 3月:上映会の開催、事業精算等事務処理		6	子どもの健全育成
	7月14日	3	吉川中学校 地域とのふれあい事業	吉川中学校後援会			768	700	新型コロナウイルス感染症対策のため、地域行事の中止が続く中、3密を避けながら実施する吹奏楽部サマーコンサートなど、地域の活性化を図る貴重な場となるため、保護者だけでなく、地域住民にも周知し、中学生の活躍を見ていただくため、参加を呼びかける。 その際、熱中症防止のため、操作しやすい屋外用簡易テントと、軽量の折りたたみ椅子を購入し、参加者等の安全に努める。 中学生のはつらつとした動きが吉川区を支える地域の元気や希望につながるよう期待している。	8月23日:吹奏楽部サマーコンサート 9月5日:吉川中学校体育祭 10月9日:OKAMI遠足 10月24日:吉川中学校音楽祭		6	子どもの健全育成
	7月16日	4	有事における避難所開設・運営手順を学ぶ事業	上越市防災士会吉川支部			726	700	いろいろな自然災害が多発する中、緊急避難に備え、より細かな実践を通して自主的に行動できる自主防災組織のリーダーを育成する。 災害時に高齢者同士でも支え合って避難行動が出来るために、自動車に依存しない準備が必要であり、避難所開設のための知識を高めるために、防災アドバイザーを招き講習会を開催する。 災害時に避難が困難な災害弱者の移手段の確保と、速やかな避難所開設のために物資の運搬などで効果を発揮できるハンディキャンパーを区内7箇所の指定緊急避難場所へ配備する。	11月上旬:防災アドバイザー(講師)との打ち合わせ、防災講習会の案内の作成と周知 11月中旬:防災講習会の開催(避難所開設・運営マニュアルの実践講習会等) 11月下旬:ハンディキャンパーの配備・取り扱い説明		5	地域の安全・安心
	7月17日	5	吉川 郷の温泉歌謡ショー事業	吉川観光協会			1,635	1,000	新型コロナウイルス感染症で社会活動に甚大な影響が出ている。こうした中、吉川区の平場にある温泉地で秋の歌謡ショーを開催して地域に元気と活力を提供するとともに、ラジオ放送番組を通じ吉川区の観光・魅力を広くPRする。	8月中旬:出演依頼や調整 8月下旬~9月上旬:チラシ作成、チラシ折込等 10月~11月:事業実施(開催日調整中) 12月:事業費精算、実績報告		7	観光振興
	7月17日	6	尾神岳スカイスポーツエリアにおける眺望並びに気象等の情報発信による誘客促進事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会			1,485	700	IT機器の発達により多くの観光地では、ライブカメラを設置することで景観のPRや天候をリアルタイムで情報提供し、誘客の確保に努めている。 尾神岳スカイスポーツエリアの利用者から気象状況をリアルタイムで見ることができれば、もっと利用できるとの声が多く寄せられている。 このシステム導入により、パラグライダー大会等のインターネットでのライブ中継が可能となり、パラグライダー愛好者はもとより広く観光客の増大、市民の利便性の向上に大きく寄与する効果が期待できる。	8月上旬:発注、委託業者との打合せ 10月上旬:設置完了 10月中旬:精算業務 10月下旬:報告等		2	文化・スポーツの振興
	追加募集額(単位:千円)			2,603	差引	0	△ 1,150	5,329	3,753	6			